

# 会 議 録

会議名	令和4年度 第2回 丸亀市自治推進委員会
開催日時	令和5年2月21日（火）18:30～20:25
開催場所	オンライン会議
出席者	<p><b>出席委員</b> 池永文彦、植谷澄子、鹿子嶋仁、関泰子、秋山ともえ、門裕介、高尾光一、高木明美、増田美樹、桃谷優太郎</p> <p><b>欠席委員</b> 岩崎正朔、塚本詩乃、竹内彩奈、渡辺ななみ</p> <p><b>事務局</b> 市長公室長 山地幸夫 （市長公室秘書政策課）課長 窪田徹也、政策マネジメント室長 高倉鋭悟、総括担当長 宇野大志郎、副主任 安藤悠子</p> <p><b>市出席者</b> 市民生活部長 田中壽紀 （市民生活部生涯学習課）課長 谷本智子、副課長 窪田美由紀、市民協働担当長 直江麻紀、副主任 田村涼</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 丸亀市協働実行計画の進行管理について</li> <li>2. 市民交流活動センター（マルタス）の運営について</li> <li>3. 丸亀市協働推進計画（仮称）策定について（諮問）</li> <li>4. 協働のまちづくりに関するアンケートの実施について（案）</li> </ol> <p>【報告】自治推進に関する取組について</p>
傍聴者	0名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
窪田課長	<p>ご案内の時刻がまいりましたので、ただいまから令和4年度第2回丸亀市自治推進委員会を開会いたします。本日は大変お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>本日の会議ですが、コロナの感染状況に鑑みまして、オンラインでの開催とさせていただきます。皆様のご協力に感謝いたします。議事に入ります前に、本日の資料の確認をいたします。</p> <p style="text-align: center;">《資料の確認》</p> <p>ここからは、丸亀市附属機関設置条例第7条の規定によりまして、鹿子嶋会長に議事進行をお願いいたします。</p>
鹿子嶋会長	<p>本日の会議は14名中10名のご出席をいただきました。丸亀市附属機関設置条例により、会議が有効に成立していることをご報告します。</p> <p>それでは早速議事に入ります。「1. 丸亀市協働実行計画の進行管理について」、説明</p>

	をお願いします。
直江担当長	《資料1～4に基づき説明》
鹿子嶋会長	ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問がございましたらお願いします。  私から一つ質問です。2024年度に新たに協働推進計画（仮称）を策定するとのことですが、その検証方法は従来と同じでしょうか。
谷本課長	新しい計画の策定時に詳細を決定する予定ですが、現段階におきましては、計画期間を5年とし、毎年度末に自治推進委員会でご意見をいただき、次年度に反映するという方法を考えております。
池永委員	資料2において、各事業についての担当課の評価が記載されているという説明がありました。このうち新型コロナウイルスの影響を受けた事業はあるのでしょうか。また、担当課の評価を受けての全体的な評価や感想をお聞かせいただけたらと思います。
直江担当長	資料2の担当課の評価のうち、「未実施（コロナ対策）」と記載しているものが、コロナの感染状況を受けて実施しなかった事業になります。ただ、今年実施しなかっただけで、事業自体がなくなったわけではありません。 市全体の評価は、私の所感になりますけれども、105事業あるうち、Aと判断したものが47事業、Bと判断したものが51事業、実施できなかったものが7事業と、市としてはうまく協働が進んでいるのではないかと受け止めております。
秋山委員	私はいくつかの団体に入り活動していますが、どの団体もメンバーが高齢化していて、一緒にやってくれる若いメンバーがいないと感じています。特にコミュニティの地区が、PTAの校区と微妙にずれているところがあり、PTA活動をしている人たちが、そのままの地区で活動を続けにくいという状況があります。これまでも同じような話が出てきているのではないかと思います。市の方ではどのように思われているかお聞きしたいです。
田中部長	コミュニティの区割りと小学校の区割りが異なっていることについては、様々な場面でご質問を受けている状況です。コミュニティが形成されてきた歴史の中で区割りが進んできましたが、中には地元自治会で議論をしていただき、自治会単位でコミュニティを変更した事例もございます。 これは自治会の議論を経ての変更であり、市の方で区割りを変更することは現実的に難しいところがありますので、自治会ごとに活動しやすい方向に変更された事例があることについて少しご紹介させていただけたらと思います。 それぞれの活動の場所は、小学校との関係が深い時期については、やはり小学校に合わせた方がしやすい面はあろうかと思います。ただその年代が終わって、ライフ

	<p>ステージに合わせて活動の場所を選択していただくことも可能ではないかと思っております。</p>
秋山委員	<p>せっかく人間関係が築き上げられているのでPTAで活動したところで活動を続けたいというときにネックになるのが自治会費です。自治会費がコミュニティ活動に使われているので、自治会費を納めていないのに活動することを気にされている方がいるということを知っておいていただきたいです。</p>
田中部長	<p>実態として様々な課題があると思いますが、コミュニティとしては活動していただける人材を求めているところがございます。そのような中で、自治会費を気にされて活動に至らないということは残念に思います。コミュニティ側は、多様な人材が活動に参加していただけることの方が、非常に有効でありがたく感じると思っております。</p>
鹿子嶋会長	<p>他にご意見はありませんでしょうか。</p> <p>ただ今いただいたご意見も踏まえて生涯学習課で手直しをし、今年度の見直しとするとのことですが、この確認をいかがいたしましょうか。</p>
谷本課長	<p>今回のご意見で、特に修正するところはなかったと思っておりますが、最終的に鹿子嶋会長にご確認いただき、そのうえで公表をしたいと考えております。</p>
鹿子嶋会長	<p>大きな変更に関するご意見は出ておりませんので、恐らく皆様にご了解いただきましたこの資料の内容で公表するということになるとは思いますが、最終的に私の方で確認させさせていただくということで、ご一任いただけたらと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>特にご意見ないようですので、今後そのような形で進めさせていただきます。</p> <p>次の議題に移ります。「2. 市民交流活動センター（マルタス）の運営について」、資料の説明をお願いします。</p>
直江担当長	<p>《資料5に基づき説明》</p>
鹿子嶋会長	<p>ただいまの説明に関しまして、ご質問、ご意見のある方はお願いします。</p>
高木副会長	<p>音声が届きにくかったのですが、資料4ページの「専門家による無料相談」のうち、「よろず支援拠点」の相談件数が380件で、市民活動に関する相談はそんなに多くなかったとおっしゃったのですか。</p>
直江担当長	<p>「よろず支援拠点」は、経営知識や情報発信に関すること等、相談内容を幅広くし</p>

	<p>ておりますので、市民活動に特化した内容ではありませんということをお知らせしました。</p>
高木副会長	<p>そうなると運営に関する相談の割合は少なくはなりますが、時間を作って運営の相談をする市民団体がいるということにおいて、私たち市民団体としてはマルタスに市民活動の中核的な機能を期待する部分がありますので、市民団体が育っていったり、マルタスがどのような役割を担うのかということのアピールがあればいいのかなと思いました。</p> <p>NPO法人未来I S S E Yさんに対する支援内容を見ていると、収益事業の提案や活動継続のサポートも行っていますので、具体的な運営支援ができますよというようなアピールや助成金等の情報提供は、何かホームページ上でされているのでしょうか。</p>
直江担当長	<p>現在マルタスのホームページ上では助成金についての具体的な発信は行っていませんが、個別に内容をお聞きする中でお勧めするほか、マルタス内のチラシを置いているブースで皆様の目に入るような形で紹介をさせていただいております。</p>
高木副会長	<p>実際に支援されている実績があるので、ホームページ等で広く広報したりアピールしたりすることをぜひご検討いただけたらと思います。</p>
鹿子嶋会長	<p>他にご意見がないようですので、次の議題に移ります。「3. 丸亀市協働推進計画（仮称）策定について（諮問）」です。お願いします。</p>
田中部長	<p>本来でしたら、自治推進委員会の会長であります鹿子嶋会長に、市長から協働推進計画の策定に関する諮問という形をとらせていただきますが、今回オンライン形式での開催になりましたので、私の方から諮問書を読み上げさせていただき、計画の諮問という形をとらせていただきたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">《資料6に基づき諮問》</p>
鹿子嶋会長	<p>それでは、次の議題に移ります。「4. 協働のまちづくりに関するアンケートの実施について（案）」、資料の説明をお願いします。</p>
谷本課長	<p style="text-align: center;">《資料7～10に基づき説明》</p>
鹿子嶋会長	<p>このアンケートの実施に関しまして、或いはアンケート内容も含めて、何かお気づきの点、ご質問等ございましたらお願いいたします。</p>
高木副会長	<p>アンケートの中に協働の説明を入れているのは非常に分かりやすいと感じました。ただ、調査票に記入する立場として見ると、市民向けアンケートは協働についての説明が冒頭に出ていますが、先に調査票が目が入り、アンケートを答えていって、協働</p>

	<p>とは何かとなった時に、最初の部分に説明があるという感じになりました。他の市民活動団体向けや事業者向けアンケートは、アンケートの流れの中に協働の説明が盛り込まれていて、市民アンケートだけ構成が違っている印象を持ちました。どちらの構成が良いのかはわかりませんが、今の市民向けの構成であれば、「協働の説明を読んでからアンケートにお進みください」という案内があっても良いのではと思います。</p> <p>また、市職員の方の協働に対する意識や、困っていることに関して調査はされているのでしょうか。そのような意識調査も必要なのではと思い、質問をさせていただきます。</p> <p>それから、少し話が戻ってしまいますが、資料2の丸亀市協働実行計画別紙には委託事業や補助事業などいろいろな性質の事業が記載されています。丸亀市ではこれを協働の一覧としていますが、私自身、委託事業を丸亀市とやっていく中で、委託事業というと業務契約の側面があるので、その事業を業務契約として見ていくのか、協働事業としてやっていくのか、その方向性を最初に取り決めておくことは重要ではないかと思っています。</p>
鹿子嶋会長	<p>市民アンケートにおいて、今ご意見があったとおり、最初に協働とはという説明があり、事例の紹介もあって、非常に分かりやすいと思います。ただ、最初に協働というものが説明されて、具体的にこういうものがあるんだと知った上で、問17の「あなたは、協働という言葉を知っていますか」という質問を読むと、回答に戸惑ってしまうのではという懸念があります。最初に説明を読んだから「知っている」と答える人もいるでしょうし、この説明を読むまでは知らなかったから「知らなかった」と答える人もいるのではないのでしょうか。過去のアンケートと比較して協働の認知度を測ると思いますので、質問の仕方を検討していただけたらと思います。</p>
谷本課長	<p>協働の説明については、協働のまちづくりに関するアンケートということで最初に持ってきましたが、その位置が良いか検討いたします。また問17の質問の仕方も、回答する方が迷うことなく答えられるような選択肢を考えたいと思います。</p> <p>2点目の市職員に対するアンケートというご意見につきまして、今回ご報告できませんでしたが、今年の1月に実施しております。やはり協働の担い手である市職員の意識も把握しておく必要があると考え、実施しましたので、また後日ご報告させていただきます。</p> <p>それと3点目の、どこまでを協働として指すかというご意見に関してですが、職員アンケートの実施に際しては、協働には幅があるということ、その後の職員研修でも、補助事業があれば、委託事業もあり、正しくこれは協働という事業もあると説明してまいりました。職員アンケートの結果を公表する際など、今後そういった部分にも気をつけていきたいと思っています。</p>
鹿子嶋会長	<p>他にご意見ありませんでしょうか。このアンケートに関しては項目が多いので、詳細をご覧いただき、後日ご意見がありましたら生涯学習課にご連絡いただくということにいたしましょうか。</p>

谷本課長	<p>はい。特に様式は定めませんので、ご意見がございましたら、2週間後の3月7日（火）までにお知らせいただきますようお願いいたします。ご意見を反映させたものを、鹿子嶋会長にご確認いただき、最終的なアンケート用紙とさせていただけたらと思います。</p>
鹿子嶋会長	<p>皆さんいかがでしょうか。      特にご意見はないようですので、そのような形で進めさせていただきます。</p> <p>続きまして、報告事項「自治推進に関する取組」について事務局より説明をお願いいたします。</p>
安藤	<p>《資料 11～13 に基づき説明》</p>
鹿子嶋会長	<p>ただ今の報告に関して、何かご意見、ご質問がございましたらお願いします。      特にご意見はないようですので、本日予定しておりました議事はすべて終了いたします。その他、事務局より何かございましたらお願いします。</p>
山地市長公室長	<p>自治推進委員会の委員の皆様はの任期ですが、令和5年3月29日となっております。現委員の皆様との委員会は本日で最後となりますので、一言お礼を述べさせていただきます。</p> <p>昨年度は特に自治基本条例の検証の年でございまして、会議を5回開催させていただきました。お忙しい中ワークシート作成の作業、それから条例の検証作業によってご提言をいただいたところがございます。皆様からのご提言に基づき、自治基本条例の広報でのお知らせ、それからeモニターなど新たな取り組みを全庁で行っております。</p> <p>先ほど協働の説明がございましたが、現在、行政それから地域におきましても様々な課題を抱えております。市民、団体、事業者の皆様との協働推進において、お力をいただくことが益々必要となってきております。自治推進はもちろんのこと、協働推進計画の策定、それからまたその運営など、今後もそれぞれの立場からご意見を賜りましたら幸いです。2年間ありがとうございました。</p>
鹿子嶋会長	<p>私の方からも、皆様に御礼申し上げます。司会があまり上手くいかず、いつも長時間になってしまい、本当に申し訳ない限りでございます。またどこかでご一緒に、自治推進に関して考える機会があればいいなと思っております。本当に皆様お疲れ様でした。毎回会議に精力的に参加していただきまして本当に感謝しております。ありがとうございました。</p> <p>それでは、以上で本日の会議を終了いたします。</p> <p style="text-align: right;">(会議終了)</p>